

学力アップ memo (4 月度)

合理的な効率学習の定着を目的として、自己ベストを目指します！
指導の徹底はスタッフの業務、習得の確認は保護者の努力となります！

① ~ 4 / 2 (木)

過去良問

入試対策に傾向分析は必須
よく出る癖のない問題を選択提供する

入学試験・資格試験など、過去問集が公開されている
目的は、すべての受験生に平等な情報を与えること
過去問集には、攻略法の発見の意味がある

III-3

過去良問リスト

Date一覧表に評価を記入する
完全理解後は、青蛍光ペンで消す

小問レベルで△・×・XXの評価は、繰り返し完全理解を目指す
次回実践は、評価と同時にスケジュールノートに書き込む
再実践は、実力テスト対策期間が適切となる

VI-13

② ~ 4 / 9 (木)

過去問検索

傾向と対策を考察
平素よりタブレットで閲覧する

思考力を正しく評価している頻出問題を選択している
何度も見ることで、単元の“体系資格”が視えてくる
学年トップクラスは、気になれば閲覧する習慣が必要

IV-17

過去問管理

リスト表に小問単位で評価
完全理解まで何度も繰り返す

定期・実力対策では、過去良問SS解説を効果的に活用
テスト範囲より、再確認すべき問題を選択する
自習棟使用者は、日頃の準備が義務となる

IV-17

③ ~ 4 / 16 (木)

達成テスト調べ

本番を意識した予行演習
時間設定とテスト形式が早期合格の条件

緊張感のある模試で、反省と対策を練り上げる
受験は“一発勝負”で、再テストは存在しない
1校目合格することに、大きな“意義”がある

IV-16

達成テスト対策

短時間でベストに仕上げる
確認テスト後に再評価をしておく

周囲に流されて、何となく受験では話にならない
毎回スキルを上げていかなければ、限界は突破できない
解ったつもりと結果の相違は、何よりの反省機会になる

VI-9

④ ~ 4 / 23 (木)

受験教材

要点ページに線引き書き込み
受験までに何千回と開閉している

受験対策教材は、受験知識が集約されている
毎日開く習慣が、合格への“第一歩”となる
毎日1箇所、線を引くことからスタートする

IV-19

ノート活用

テスト前のイメージ再生
短時間でできる工夫をしている

対策ノートは、計算用紙や書き写しの道具ではない
テスト調べに役に立つように、準備するものである
得点になる箇所を強調しておく、時短可能となる

III-4